

オオトウゾクカモメ **Great Skua**

この凄い名前の大物が、1998年6月28日、なんと埼玉県支部の総会の当日に海無し県の埼玉に出現し、「総会を中止して見に行こうではないか！」と色めき立ったものでした。

「トウゾク＝盗賊」という名は、正に「海の猛禽類」と呼ばれるように、トウゾクカモメ科の鳥は、非常に優れた飛翔力をもってカモメ類を威嚇し、持っている餌を強奪するところから来ています。

日本野鳥の会の『フィールドガイド日本の野鳥』には、4種類のトウゾクカモメ類が載っていますが、それぞれの英名は次の通りです。

オオトウゾクカモメ	Great Skua
または	Bonxie
トウゾクカモメ	Pomarine Skua
または	Pomarine Jeager
クロトウゾクカモメ	Arctic Skua
または	Parasitic Jeager
シロハラトウゾクカモメ	Long-tailed Skua
または	Long-tailed Jeager

“Skua”はもともと鳴き声に由来するもので、これ自体でもオオトウゾクカモメを意味し、“Jeager”はドイツ語の「略奪者」「泥棒」に由来して、Skuaより小型で、尾羽の真ん中が長く突き出ているものを呼びます。

支部総会の日には本県に出現したオオトウゾクカモメは、厳密に言うとナンキョクオオトウゾクカモメとも呼ぶ、英名で **South Polar Skua** という種類であることは、野鳥記録委員会の報告で詳しく述べられています。

見られた人は、実にラッキーでしたね。

大宮のハクトウワシ